

タイトル	シンボルツリーのくぬぎを活用した特別支援の自立活動・総合的な学習の時間
名称（学校・地域）	長野市立広徳中学校（長野上水内）

【教育活動の内容】

開校27年目となり、開校当時植えた一人一本のくぬぎが増えてしまい、750本を超えた。どんぐりが側溝に落ち、そこで根を張って、水が流れなくなったり、落ち葉が道路に落ちたりして、近隣の農地所有者のみなさんの迷惑にもなっていた。そこでSDGsのコンセプトのもと、くぬぎの木を用いた特別支援学級独自の総合的な学習の時間を展開した。

増えすぎたくぬぎの木を間引きし、健全なくぬぎの林にする。間引いたくぬぎの木はしいたけの原木にして、しいたけ栽培をする。しいたけ栽培については経験と実績のある大岡中学校の生徒会とzoomによる交流する。

秋のどんぐりは拾って、茶臼山動物園のクマやサル、リス、モモンガ等の動物のえさとして活用する。間引いたくぬぎの小枝を利用して、落ち葉プールをつくり、くぬぎの落ち葉を使った腐葉土をつくり、学校の畑や地域の農地所有者のかたにもらっていただく。（2年後をめざす。）

